級別に取り組む、漢字の問題プリント

漢字ドリル

漢検 3 級

第3巻　問題のみ

読み、書き、くり返し。

36字

この巻で学ぶ漢字

この巻で取り組む漢字の一部

貝 赤 足 車 金 雨

問題にじっくり取り組む

本文 37ページ・答えは各用紙のQRから

diglabo.com

diglabo

漢検の級別配当を参考にした独自教材です。公式問題集ではありません。

3きゅう 3かん たんい1 A

なまえ

/ 16

1. すしの 赤(あか) □(がい) はこりこりしている
2. 遠(えん) □(そく) で動物園(どうぶつえん)に行(い)く
3. お祭(まつ)りで □(きん) 魚(ぎょ) すくいをする
4. 小学校に入って □(いち) 年(ねん) がたつ
5. 赤いえんぴつを □(いっ) 本(ぽん) かりる
6. ホタテの □(かい) 柱(ばしら) をバターで焼(や)く
7. ろう下に □(あし) 音(おと) がひびく
8. □(きん) 曜(よう) 日(び) にプールがある
9. 赤い 夕日が山にしずむ □
10. 車の窓(まど)から海(うみ)が見える □
11. しとしとと 雨がふりつづく □
12. ひまわりの種(たね)が 九日で芽(め)を出した □
13. 誕生日(たんじょうび)に 赤飯 をたく □
14. 信号(しんごう)の 赤色 は止(と)まれ □
15. 駅(えき)で 電車 を待(ま)つ □
16. 雨天 で運動会(うんどうかい)が延(の)びる □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 3かん たんい1 A-2

なまえ

/ 16

1. お正月のある [いち] 月(がつ) は寒(さむ)い
2. 道(みち)で [いち] 円(えん) 玉を見つけた
3. すなはまで 巻(まき) [がい] をひろう
4. アサリは 二(に) 枚(まい) [がい] だ
5. 手(て) [あし] をばたばたさせておよぐ
6. 右(みぎ) [あし] でけんけんする
7. 夕日で海(うみ)が [きん] 色(いろ) にかがやく
8. 大(たい) [きん] を交番(こうばん)にとどける
9. 赤 ら む
10. 赤 ら め る
11. 九 月 になって秋(あき)の虫が鳴(な)く
12. 三年生が 九 人 ならんで写真(しゃしん)をとる
13. 川の 水 車 がゆっくり回(まわ)る
14. 終点(しゅうてん)で 下 車 する
15. 大 雨 で道(みち)が水びたしになる
16. 朝(あさ)から 小 雨 がふったりやんだりしている

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 3かん たんい1 B

なまえ

/ 15

1. 信号の□色は止まれ
2. 駅で電□を待つ
3. 夏休みが終わって□月になる
4. 二年生になると□□を習う
5. 運動会で□組をおうえんする
6. 自動□がびゅんと通る
7. しおひがりで 貝 をたくさんとる
8. チーターは 足 がとても速い
9. おこづかいのお 金 を財布に入れる
10. おやつのクッキーを 一 つ ずつくばる
11. 遠 足 で動物園に行く
12. おかしを買うのにお金が 足 りる
13. オリンピックで 金 メダルをとる
14. 雨がふって 一 日 中 外で遊べない
15. 岩のすきまに 貝 がくっついている

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 3かん たんい1 B-2

なまえ

/ 12

1. 大(おお)[ ](あめ)で電車(でん)がおくれる
2. 野球(やきゅう)は[ ](きゅう)人(にん)で守(まも)る
3. テストで[ ](きゅう)十(じゅう)点(てん)をとった
4. 黒い(くろ)[ ](あま)雲(ぐも)が近(ちか)づく
5. 足る [ ]
6. 三に二を足す と五になる [ ]
7. カレンダーをめくると六月 一日 だった [ ]
8. 入学したばかりの 一年生 が校庭(てい)にならぶ [ ]
9. 貝 が ら を耳(あ)に当てると波(なみ)の音がする [ ]
10. 魚屋(さかなや)さんに 赤 貝 がならぶ [ ]
11. 泉(いずみ)のめがみが 金 のおのを出してくれた [ ]
12. おじいちゃんは 大 金 をかけて家(いえ)を建(た)てた [ ]

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 3かん たんい2 A

なまえ

/ 19

1. [あお] 空(ぞら) にたこが上がる
2. この本は 一(いち) [まん] 冊(さつ)売れた
3. 町の [こう] 通(つう) ルールを守(まも)る
4. 四月に [にゅう] 学(がく) する日を待(ま)つ
5. [まん] 一(いち) の地しんにそなえる
6. 父は国の 外(がい) [こう] の仕事(しごと)をしている
7. 動物園(どうぶつえん)の [いり] 口(ぐち) にならぶ
8. [せい] 年(ねん) が道(みち)を教(おし)えてくれた
9. [あおい] アサガオがさいた
10. 遠(とお)くでたいこの 音 がする
11. 夜空に 丸い 月がうかぶ
12. 日本の首都(と)は 東京 だ
13. 外国(がいこく)からの荷物(にもつ)が 十日 でとどいた
14. 音楽 に合(あ)わせておどる
15. 日本語の 母音 は五つある
16. クラスが 一丸 となって歌う
17. 川に 丸太 の橋(はし)をかける
18. 京阪神 を結ぶ鉄道は本数が多い
19. 遠足(えん)は来月(らい)の 二十日 だ

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 3かん たんい2 A-2

なまえ

/ 13

1. 大きな市には 百(ひゃく) □(まん) 人がくらす
2. 花火を見に 十(じゅう) □(まん) 人が来た
3. 駅(えき)前の □(こう) 番(ばん) で道を聞く
4. 兄と □(こう) 代(たい) で犬の散歩(さん)をする
5. 五月の □(あお) 葉(ば) がまぶしい
6. □(あお) 色(いろ) のクレヨンで海(うみ)をかく
7. 笛(ふえ)のきれいな 音 色 が聞(き)こえる □
8. 新聞紙をくしゃくしゃに 丸 め る □
9. 森で切った 丸 太 をトラックで運(はこ)ぶ □
10. 兄は大学に入るため春に 上 京 した □
11. おばあさんの家には古い 京 人 形 がある □
12. エレベーターには 十 人 まで乗(の)れる □
13. 名前(まえ)を 五 十 音 のじゅんにならべる □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 3かん たんい2 B

なまえ

/ 18

1. □ おん
楽 がく に合わせておどる

2. 川に □ まる
太 た の橋をかける

3. 新幹線で 東 とう □ きょう へ行く

4. □ じゅう
月 がつ に運動会がある

5. ねん土を手のひらで □ まるめる

6. 家族で □ きょう
都 と へ旅行する

7. 両手のゆびは □ じっ
本 ぽん ある

8. うしろから 足 あし □ おと が近づく

9. □ 青い 海がどこまでもつづく

10. □ お年玉を合わせると 一万 円になった

11. □ 二本の道が 交わる ところに信号がある

12. □ おばあちゃんから 入学 のおいわいをもらう

13. □ 青年 が道を教えてくれた

14. □ 青空 にたこが上がる

15. □ 引退の日に 万感 胸に迫る

16. □ 町の 交通 ルールを守る

17. □ 交える

18. □ トンネルの 入口 が見えてきた

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 3かん たんい2 B-2

なまえ

/ 13

1. ぼくは父に似(に)て□(まる)顔(がお)だ
2. 春にいとこが上(じょう)□(きょう)してくる
3. たなに□(きょう)人(にん)形(ぎょう)をかざる
4. 笛(ふえ)のきれいな□(ね)色(いろ)が聞(き)こえる
5. 国語(こくご)の教科書(きょうかしょ)を□(おん)読(どく)する
6. 交じる
7. 交ざる
8. 花束(たば)に赤い花を交ぜる
9. 市の図書館(かん)には百万冊(さつ)の本がある
10. 森には十万本の木が立っている
11. パソコンに名前(まえ)を入力する
12. 青空に飛行機雲(ひこうきぐも)がのびる
13. 青虫がむしゃむしゃ葉(は)っぱを食(た)べる

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 3かん たんい2 B-3

なまえ

/ 13

1. クラスが一(いち)□(がん)となって歌う
2. 毛布(ふ)を□(まる)洗(あら)いする
3. 祖母(そぼ)は□(きょう)言葉(ことば)で話す
4. おにごっこに□(じゅう)人(にん)があつまった
5. 花のつぼみが□(とお)日(か)でひらいた
6. 英語(えいご)の発(はつ)□(おん)をまねする
7. 日本語の母(ぼ)□(いん)は五つある
8. □ネット上に根も葉もないうわさが飛び交う
9. □旅先で地元の人と言葉を交わす
10. □万一のときは先生に知らせる
11. □高い山の上には夏でも万年雪が残(のこ)る
12. □大雪で交通がみだれる
13. □となりの家(いえ)の青年は大学生だ

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 3かん たんい3 A

なまえ

/ 18

1. □(こん)回(かい)のテストは百点だった
2. 長い山道を歩くには□(たい)力(りょく)がいる
3. 夏休みの思い出を□(さく)文(ぶん)に書く
4. 川の□(ど)手(て)でつくしをつむ
5. □(こん)週(しゅう)の金曜日は遠足だ
6. □(たい)育(いく)の時間になわとびをする
7. 空き箱で工(こう)□(さく)をする
8. □(ど)曜(よう)日(び)はプールに行く
9. 夏休みにいなかのおじいさんと会う □
10. おやつに何を食べようか □
11. かぜがなおって元気になった □
12. ていねいに大きな字を書く(か) □
13. 父は会社に電車で通う □
14. 床に幾何学的な模様のタイルを張る □
15. 元日の朝に初(はつ)もうでに行く □
16. 出かける前に火元を確かめる(たしか) □
17. 遠足に何人来るか先生が数える □
18. 黒板(こくばん)の文字が小さくて見えない □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 3かん たんい3 B

なまえ

/ 19

1. 父は□(かい)社(しゃ)に電車で通う
2. クラスに□(なん)人(にん)いるか数える
3. 子犬が□(げん)気(き)に走り回る
4. 漢(かん)□(じ)のテストで百点(てん)をとる
5. 兄は社(しゃ)□(かい)の時間に地図を見る
6. 同じ本を□(なん)回(かい)も読む
7. 出かける前に火(ひ)□(もと)を確(たし)かめる
8. □(がん)日(じつ)の朝に初(はつ)もうでに行く
9. ふでとすみで習(しゅう)□(じ)をする
10. 今は午後三時だ
11. おふろで体をきれいにあらう
12. 母とクッキーを作る
13. 花だんの土をスコップでほる
14. 今回のテストは百点だった
15. 平安時代に編まれた古今和歌集を読む
16. 長い山道を歩くには体力がいる
17. レポートの体裁を整える
18. 夏休みの思い出を作文に書く
19. 土手の上で犬と散歩(さんぽ)する

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 3かん ふりかえり3 A

なまえ

/ 24

1. すしの 赤(あか) □(がい) はこりこりしている
2. 遠(えん) □(そく) で動物園(どうぶつえん)に行(い)く
3. お祭(まつ)りで □(きん) 魚(ぎょ) すくいをする
4. □(あお) 空(ぞら) にたこが上がる
5. この本は □(いち) □(まん) 冊(さつ)売れた
6. 町の □(こう) 通(つう) ルールを守(まも)る
7. □(こん) 回(かい) のテストは百点だった
8. 長い山道を歩くには □(たい) 力(りょく) がいる
9. 夏休みの思い出を □(さく) 文(ぶん) に書く
10. 小学校に入って □(いち) 年(ねん) がたつ
11. 川の □(ど) 手(て) でつくしをつむ
12. 父の □(まん) 年(ねん) 筆(ひつ) で書く
13. □ 赤い 夕日が山にしずむ
14. □ 車 の窓(まど)から海(うみ)が見える
15. □ しとしとと 雨 がふりつづく
16. □ 遠(とお)くでたいこの 音 がする
17. □ 夜空に 丸い 月がうかぶ
18. □ 日本の首都(と)は 東京 だ
19. □ 夏休みにいなかのおじいさんと 会う
20. □ おやつに 何 を食べようか
21. □ かぜがなおって 元気 になった
22. □ ひまわりの種(たね)が 九日 で芽(め)を出した
23. □ 外国(がいこく)からの荷物(にもつ)が 十日 でとどいた
24. □ ていねいに大きな 字 を書(か)く

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 3かん ふりかえり3 A-2

なまえ

/ 24

1. 四月に□学する日を待つ
2. お正月のある□月は寒い
3. 道で□円玉を見つけた
4. 大きな市には百□人がくらす
5. 花火を見に十□人が来た
6. 駅前の□番で道を聞く
7. 兄と□代で犬の散歩をする
8. □週の金曜日は遠足だ
9. □夜は花火大会がある
10. □育の時間になわとびをする
11. 水はわかすと気□に変わる
12. 空き箱で工□をする
13. 将来は□家になりたい
14. 森で切った 丸太 をトラックで運ぶ
15. ゆきだるまは 丸顔 でにこにこしている
16. 九月 になって秋の虫が鳴く
17. 三年生が 九人 ならんで写真をとる
18. おばあさんの家には古い 京人形 がある
19. 名古屋のあたりを 中京 とよぶ
20. 父の 会社 は駅の近くにある
21. 野球の 大会 で兄のチームが勝った
22. 弟の名前を 何回 もよんだ
23. 宿題は 何日 までに出すのか
24. 雨の日は 足元 がすべりやすい

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 3かん ふりかえり3 B

なまえ

/ 24

1. 信号の□色は止まれ
2. 駅で電□を待つ
3. □楽に合わせておどる
4. 川に□太の橋をかける
5. 新幹線で東□へ行く
6. クラスに□人いるか数える
7. 子犬が□気に走り回る
8. 夏休みが終わって□月になる
9. □月に運動会がある
10. 漢□のテストで百点をとる
11. クラスが一□となって歌う
12. しおひがりで貝をたくさんとる
13. チーターは足がとても速い
14. おこづかいのお金を財布に入れる
15. 青い海がどこまでもつづく
16. お年玉を合わせると一万円になった
17. 二本の道が交わるところに信号がある
18. 今は午後三時だ
19. おふろで体をきれいにあらう
20. 母とクッキーを作る
21. おやつのクッキーを一つずつくばる
22. おばあちゃんから入学のおいわいをもらう
23. 花だんの土をスコップでほる
24. 高い山の上には夏でも万年雪が残る

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 3かん ふりかえり3 B-2

なまえ

/ 24

1. 大□で電車がおくれる
2. 父は□社に電車で通う
3. ぼくは父に似て□顔だ
4. 毛布を□洗いする
5. 野球は□人で守る
6. テストで□十点をとった
7. 春にいとこが上□してくる
8. 家族で□都へ旅行する
9. 兄は社□の時間に地図を見る
10. 同じ本を□回も読む
11. 誕生日まであと□日だろう
12. 出かける前に火□を確かめる
13. □カレンダーをめくると六月一日だった
14. □入学したばかりの一年生が校庭にならぶ
15. □市の図書館には百万冊の本がある
16. □森には十万本の木が立っている
17. □大雪で交通がみだれる
18. □おまわりさんが交番の前に立っている
19. □今夜は星がよく見える
20. □平安時代に編まれた古今和歌集を読む
21. □水泳を続けて体力がついた
22. □風船の中には気体が入っている
23. □作文を先生にほめられた
24. □夏休みの工作で木の船ができた

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 3かん たんい4 A

なまえ

/ 17

1. □(きょう)弟(だい)でおもちゃを分け合う
2. 学校の帰りに□(こう)園(えん)で遊(あそ)ぶ
3. □(ふゆ)休(やす)みにスキーに行く
4. ぼくと姉(あね)は学(がく)□(ねん)が二つちがう
5. 道場で□(あに)弟(で)子(し)に教わる
6. 漁船(ぎょ)が□(こう)海(かい)で魚をとる
7. 真(ま)□(ふゆ)の朝は池に氷(こおり)がはる
8. 来(らい)□(ねん)は海(うみ)に行(い)きたい
9. 夏の夜にほたるが光る……□
10. 友達(だち)に心の内……を話す□
11. 博物館(はくぶつかん)で古い刀……を見る□
12. 庭(にわ)の木……に小鳥(とり)がとまる□
13. ふとんに日光……を当ててほす□
14. カーテンのすき間から朝の光……がさしこむ□
15. 駅(えき)までの道を案内……する□
16. お城(しろ)に宝刀……がかざってある□
17. 台風(たいふう)で大木……がたおれた□

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 3かん たんい4 B

なまえ

/ 16

1. ふとんに日[こう]を当ててほす
2. 駅[えき]までの道を案[あん][ない]する
3. 博物館[はくぶつかん]に小[こ][がたな]がかざってある
4. 夜のまどから月[げつ][こう]がさしこむ
5. 夏休みに国[こく][ない]を旅[りょ]行する
6. お城[しろ]に宝[ほう][とう]がかざってある
7. [もく]曜[よう]日[び]はプールがある
8. 春[はる]になって草[くさ][き]が芽[め]を出す
9. 兄は中学校でサッカー部[ぶ]に入っている
10. 近くの公園で桜[さくら]がさいた
11. 冬になると北風がふく
12. お正月に新[あたら]しい年をむかえる
13. 義兄は高校で数学を教えている
14. 調査の結果を公にする
15. スケート場は冬期だけ開[ひら]く
16. 学年ごとにならんで写真[しゃしん]をとる

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 3かん たんい4 B-2

なまえ

/ 13

1. 公園(こうえん)の 大(たい)□(ぼく)にせみがとまる
2. ヒーローが手から □(こう)線(せん)を出す
3. 外国の人が 観(かん)□(こう)に来る
4. 休み時間に 校(こう)□(ない)を見回る
5. 雨の日は 室(しつ)□(ない)で遊(あそ)ぶ
6. ベランダの 植(うえ)□(き)に水をやる
7. ぼくたちは三人 兄弟 だ □
8. 毎朝 兄 といっしょに学校へ行く □
9. この町の小学校はみんな 公立 だ □
10. 大きな船が 公海 をゆっくり進(すす)む □
11. 冬休み におばあさんの家でもちつきをする □
12. 父は 冬山 でスキーをするのが好(す)きだ □
13. 一年生 の教室(きょうしつ)に花をかざる □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 3かん たんい5 A

なまえ

/ 14

1 日曜日の ご ぜん はピアノを習(なら)う

2 日曜日の ご 後(ご) は家で本を読む

3 お しょう 月(がつ) にかるたで遊(あそ)ぶ

4 駅(えき) まえ で友達(だち)と待(ま)ち合わせる

5 クイズの せい 解(かい) を発表(はっぴょう)する

6 はさみで紙を 切 る

7 地図ではふつう上が 北 だ

8 りんごを 半 分 に切って二人で食べる

9 ライオンは動物(どうぶつ)の 王 とよばれる

10 お年寄(よ)りに 親 切 にする

11 時計の電池が 切 れ る

12 東 北 の夏祭(まつ)りを見に行く

13 九月の 半 ば に運動会(うんどう)がある

14 王 子 がガラスのくつを見つけた

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 3かん たんい5 A-2

なまえ

/ 14

1. 自(じ)□(ぶん)で朝ごはんを作る
2. 晴れた日は気(き)□(ぶん)がいい
3. ノートに名(な)□(まえ)を書く
4. 体を□(ぜん)後(ご)にゆらす
5. 学校では□(しょう)□(ご)にチャイムが鳴る
6. カメラの□(しょう)面(めん)に立つ
7. 道を教えてくれた親切な人にお礼(れい)を言う □
8. 切り紙で雪の模様(もよう)を作る □
9. 北風にふかれて木の葉(は)がちる □
10. わたり鳥は南北を行き来する □
11. 紙を切って半円の形を作る □
12. 夏休みの半ばに海へ行った □
13. 女王がお城(しろ)の窓(まど)から手をふる □
14. おじいちゃんとのしょうぎで王手をかけた □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 3かん たんい5 B

なまえ

/ 16

1. お年寄りに親□にする（せつ）
2. □風（きた かぜ）が冷たくて耳が痛い
3. コップの水を□分（はん ぶん）飲む
4. お城に□子（おう じ）がすんでいる
5. □り紙（き かみ）で星を作る
6. □国（きた ぐに）では冬に雪が多い
7. ピアノを習って□年（はん とし）になる
8. □女（おう じょ）がきれいなドレスを着る
9. クラスを四つの班に分ける
10. 列の一番前にならぶ
11. 雨がやんだので午後は外で遊ぶ
12. 正しい答えをえらぶ
13. 自分で朝ごはんを作る
14. 分かれる
15. 日曜日の午前はピアノを習う
16. お正月にお年玉をもらう

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 3かん たんい5 B-2

なまえ

/ 15

1. もらった本を 大(たい)□(せつ)にする
2. 丸太の □(き) り 口(くち) を見る
3. 東(とう) □(ほく) の夏祭(まつ)りを見に行く
4. □(ほっ) 海(かい) 道(どう) でスキーをする
5. 夜空に □(はん) 月(げつ) がうかんでいる
6. 試(し)合の 後(こう) □(はん) で点を取(と)った
7. 女(じょ) □(おう) が馬(ば)車で町を通(とお)る
8. □(おう) 様(さま) がごちそうを食(た)べる
9. 図をかくと答えがすぐ 分かる □
10. 分かつ □
11. 自分の考えを発表(はっぴょう)する □
12. 午前 九時に家を出る □
13. かわいい子ねこに 名前 をつける □
14. 時計のはりが 正午 をさしている □
15. ひいおばあちゃんは 大正 生まれだ □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 3かん たんい6 A

なまえ

/ 13

1. 日本は［なん］北（ぼく）に長い国だ
2. 兄には小学校からの親（しん）［ゆう］がいる
3. 家の東（とう）［なん］に大きな木がある
4. 父の［ゆう］人（じん）が家に遊（あそ）びに来た
5. 近所の原っぱ（じょ）でたこをあげる［　］
6. 百年前に建（た）てられた古いお寺を見に行く［　］
7. このくつはぼくの足にぴったり合う［　］
8. たこの糸がぷつんと切（き）れる［　］
9. 夏休みに高原の牧場（ぼく）へ行った［　］
10. 兄が中古の自転車（てん）を買った［　］
11. テストの点の合計を出す［　］
12. 二台のロボットが合体する［　］
13. やっと問題（もんだい）をとく糸口が見えた［　］

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 3かん たんい6 A-2

なまえ

/ 17

1. 家の前に 一(いち) □(だい) の車が止まった
2. ポケットに □(ひゃく) 円(えん) 玉がある
3. 公園の □(みなみ) 口(ぐち) に花だんがある
4. □(なん) 極(きょく) は一年中とても寒(さむ)い
5. 母は高校の 学(がく) □(ゆう) と今も会う
6. 二人の □(ゆう) 情(じょう) は長く続(つづ)いた
7. 大きな □(たい) 風(ふう) が近づいている
8. この人形(ぎょう)は □(ひゃく) 年(ねん) 前(まえ)のものだ
9. 合わす □
10. クラスのみんなで力を 合わせる □
11. ちょうちょうが 野原 を飛(と)んでいる □
12. 夏でも 高原 はすずしい風がふく □
13. 読み終(お)えたまんがを 古本 として売る □
14. 年に一度(と)は父の 古里 に帰る □
15. 三つの数の 合計 を求(もと)める □
16. ボタンを 白糸 でぬいつける □
17. 生糸 で着物を織る □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 3かん たんい6 B

なまえ

/ 16

1. 春の野(の)□(はら)で花をつむ
2. 兄は店で□(ふる)本(ほん)を三冊(さつ)買った
3. テストの点の□(ごう)計(けい)を出す
4. 毛(け)□(いと)でマフラーを編(あ)む
5. 夏休みに高(こう)□(げん)の牧場(ぼく)へ行った
6. 兄が中(ちゅう)□(こ)の自転車(てん)を買った
7. 先生の□(あい)図(ず)で走り出す
8. 弟(おとうと)と□(いと)電(でん)話(わ)で話(はな)す
9. わたしの家のまどは 南 を向(む)いていて明るい □
10. こまったときに助(たす)けてくれるのが本当の 友 だ □
11. 家には自転車(てん)が 一 台 ある □
12. お祭(まつ)りで 百 円 のくじを引(ひ)く □
13. 日本は 南 北 に長い国だ □
14. 兄には小学校からの 親 友 がいる □
15. 大きな 台 風 が近づいている □
16. このさくらの木は 百 年 も前(まえ)からある □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 3かん ふりかえり6 A

なまえ

/ 24

1. すしの赤(あか)□(がい)はこりこりしている
2. お祭(まつ)りで□(きん)魚(ぎょ)すくいをする
3. □(あお)空(ぞら)にたこが上がる
4. 町の□(こう)通(つう)ルールを守(まも)る
5. □(こん)回(かい)のテストは百点だった
6. 夏休みの思い出を□(さく)文(ぶん)に書く
7. □(きょう)弟(だい)でおもちゃを分け合う
8. □(ふゆ)休(やす)みにスキーに行く
9. 日曜日の□(ご)後(ご)は家で本を読む
10. 日本は□(なん)北(ぼく)に長い国だ
11. 家の前に一(いち)□(だい)の車が止まった
12. □チーターは足がとても速(はや)い
13. □お年玉を合わせると一万円になった
14. □おふろで体をきれいにあらう
15. □近くの公園で桜(さくら)がさいた
16. □列(れつ)の一番前にならぶ
17. □こまったときに助(たす)けてくれるのが本当の友だ
18. □おやつのクッキーを一つずつくばる
19. □おばあちゃんから入学のおいわいをもらう
20. □花だんの土をスコップでほる
21. □お正月に新(あたら)しい年をむかえる
22. □正しい答(こた)えをえらぶ
23. □お祭(まつ)りで百円のくじを引(ひ)く
24. □高い山の上には夏でも万年雪が残(のこ)る

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 3かん ふりかえり6 A-2

なまえ

/ 24

1. 自(じ)□(ぶん)で朝ごはんを作る
2. 駅(えき)前の□(こう)番(ばん)で道を聞く
3. 兄と□(こう)代(たい)で犬の散歩(さんぽ)をする
4. □(こん)週(しゅう)の金曜日は遠足だ
5. □(こん)夜(や)は花火大会がある
6. 真(ま)□(ふゆ)の朝は池に氷(こおり)がはる
7. 雪のつもった□(ふゆ)山(やま)に登(のぼ)る
8. 晴れた日は気(き)□(ぶん)がいい
9. 公園の□(みなみ)口(ぐち)に花だんがある
10. □(なん)極(きょく)は一年中とても寒(さむ)い
11. カレンダーをめくると六月 一日 だった □
12. 雨がふって 一日 中 外(そと)で遊(あそ)べない □
13. 市の図書館(かん)には 百 万 冊(さつ)の本がある □
14. 森には 十 万 本の木が立っている □
15. 水泳(えい)を続(つづ)けて 体 力 がついた □
16. 風船の中には 気 体 が入っている □
17. トンネルの 入 口 が見えてきた □
18. パソコンに名前(まえ)を 入 力 する □
19. この町の小学校はみんな 公 立 だ □
20. 大きな船が 公 海 をゆっくり進(すす)む □
21. 午 前 九時に家を出る □
22. かわいい子ねこに 名 前 をつける □
23. 転(てん)校していった 親 友 に手紙を書く □
24. 母は 友 人 とお茶を飲(の)みに出かけた □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 3かん ふりかえり6 B

なまえ

/ 24

1. 駅で電□を待つ
2. 川に□太の橋をかける
3. クラスに□人いるか数える
4. 駅までの道を案□する
5. □風が冷たくて耳が痛い
6. 夏休みが終わって□月になる
7. □月に運動会がある
8. 漢□のテストで百点をとる
9. 公園の大□にせみがとまる
10. お城に□子がすんでいる
11. 毛□でマフラーを編む
12. 毛布を□洗いする
13. □赤い夕日が山にしずむ
14. □しとしと雨がふりつづく
15. □遠くでたいこの音がする
16. □日本の首都は東京だ
17. □夏休みにいなかのおじいさんと会う
18. □かぜがなおって元気になった
19. □夏の夜にほたるが光る
20. □博物館で古い刀を見る
21. □はさみで紙を切る
22. □りんごを半分に切って二人で食べる
23. □近所の原っぱでたこをあげる
24. □このくつはぼくの足にぴったり合う

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 3かん ふりかえり6 B-2

なまえ

/ 24

1. 兄は店で□本を三冊買った
2. ぼくは父に似て□顔だ
3. クラスが一□となって歌う
4. 野球は□人で守る
5. テストで□□点をとった
6. 同じ本を□回も読む
7. 誕生日まであと□日だろう
8. 夏休みに国□を旅行する
9. 休み時間に校□を見回る
10. □国では冬に雪が多い
11. 東□の夏祭りを見に行く
12. おにごっこに□人があつまった
13. 兄は大学に入るため春に上京した
14. 京阪神を結ぶ鉄道は本数が多い
15. 父の会社は駅の近くにある
16. 野球の大会で兄のチームが勝った
17. 雨の日は足元がすべりやすい
18. 元日には家族でおせちを食べる
19. 朝の日光をあびて目をさます
20. 月光が海をてらしている
21. おみやげに木刀を買った
22. 道を教えてくれた親切な人にお礼を言う
23. 切り紙で雪の模様を作る
24. 紙を切って半円の形を作る

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 3かん かん字のしくみ 1

なまえ

/ 18

6	5	4	3	2	1
雨	金	車	足	赤	貝
部首	部首	部首	部首	部首	部首

12	11	10	9	8	7
京	交	丸	万	音	青
部首	部首	部首	部首	部首	部首

18	17	16	15	14	13
元	作	何	体	会	今
部首	部首	部首	部首	部首	部首

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 3かん かん字のしくみ 2

なまえ

/ 18

6	5	4	3	2	1
刀	冬	内	公	光	兄
部首	部首	部首	部首	部首	部首

12	11	10	9	8	7
半	午	北	前	切	分
部首	部首	部首	部首	部首	部首

18	17	16	15	14	13
合	台	古	友	原	南
部首	部首	部首	部首	部首	部首

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 3かん じゅくごのくみたて

なまえ

/ 20

二字の意味のつながりを考え、合う説明の記号を書きましょう。

- ア 意味の近い二字
- イ 反対の意味や対になる二字
- ウ 前の字が、後ろの字の様子や種類を示す
- エ 後ろの字が、前の字の動作の対象を示す
- オ 前の字が、後ろの字の意味を否定する

1. 貝柱 □
2. 赤色 □
3. 手足 □
4. 車庫 □
5. 針金 □
6. 雨天 □

7. 青空 □
8. 発音 □
9. 万感 □
10. 丸顔 □
11. 交通 □
12. 古今 □
13. 会場 □
14. 体力 □

15. 作文 □
16. 元気 □
17. 兄弟 □
18. 観光 □
19. 公立 □
20. 車内 □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 3かん はんたいとにたいみ

なまえ

/ 22

対義語は反対や対になる意味、類義語は似た意味の言葉です。読みの候補を使って、□へ漢字一字を書きましょう。同じ読みは一度ずつ使います。

対…対義語
類…類義語

1 対 歩道 — □道

2 対 帰郷 — 上□

3 対 乾期 — □期

4 対 黙読 — □読

5 対 直流 — □流

6 対 脂身 — □身

あか・う・おん・きょう・こう・しゃ

7 対 昔風 — □風

8 対 真夏 — 真□

9 対 田園 — 都□

10 対 南下 — □上

11 対 抽象 — 具□

12 類 若者 — □年

13 類 礼儀 — □法

14 類 情景 — □景

いま・かい・こう・さ・せい・たい・ふゆ・ほく

15 類 欠乏 — 不□

16 類 修復 — 復□

17 類 重要 — 大□

18 類 給与 — 賃□

19 類 若干 — 幾□

20 類 官舎 — □舎

21 類 親類 — 身□

22 類 将来 — □途

うち・ぎん・げん・こう・せつ・ぜん・そく・ぶん

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 3かん よじじゅくご 2じ

なまえ

/ 7

ぶんとカタカナをてがかりに、しかくへかんじをふたもじかきましょう。

1 このしは 一字 だ。

セン キン

2 十中 あすははれる。

ハッ ク

3 山川 をたいせつにまもる。

ソウ モク

4 公明 なたいどでのぞむ。

セイ ダイ

5 無双 のえんぎにみとれる。

テン カ

6 三脚 でかけぬける。

ニ ニン

7 時中 おとがきこえる。

シ ロク

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 3かん よじじゅくご

なまえ

/ 24

読みを確かめて、□へ漢字一字を書きましょう。

1. 自給自□（ソク）
2. □（キン）城鉄壁
3. 千天慈□（ウ）
4. □（アオ）息吐息
5. 歌舞□（オン）曲
6. 千紫□（バン）紅
7. 遠□（コウ）近攻
8. 古□（コン）独歩
9. 一心同□（タイ）
10. 豊年満□（サク）
11. 四海□（ケイ）弟
12. 眼□（コウ）紙背
13. □（コウ）平無私
14. 春夏秋□（トウ）
15. 一□（トウ）両断
16. 思慮□（フン）別
17. □（ゼン）後不覚
18. 南船□（ホク）馬
19. 一知□（ハン）解
20. □（タイ）風一過
21. 知行□（ゴウ）一
22. □（キュウ）死一生
23. □（ジュウ）年一日
24. 草根□（モク）皮

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 3かん ごじをなおす

なまえ

/ 24

次の文にまちがって使われている同じ読みの漢字が一字ある。上に誤字を、下に正しい漢字を書きなさい。

1. 績十字の旗(はた)がゆれる
   誤 ／ 正
2. 遠速で動物園(どうぶつえん)に行(い)く
   誤 ／ 正
3. 駅(えき)で電舎を待(ま)つ
   誤 ／ 正
4. お祭(まつ)りで緊魚すくいをする
   誤 ／ 正
5. 宇天で運動会(うんどうかい)が延(の)びる
   誤 ／ 正
6. 整年が道(みち)を教(おし)えてくれた
   誤 ／ 正
7. 英語(えいご)の発恩をまねする
   誤 ／ 正
8. 大きな市には百慢人がくらす
   誤 ／ 正
9. クラスが一願となって歌う
   誤 ／ 正
10. 町の攻通ルールを守(まも)る
    誤 ／ 正
11. 春にいとこが上競してくる
    誤 ／ 正
12. 混夜は花火大会がある
    誤 ／ 正
13. かぜをひいて怠温をはかる
    誤 ／ 正
14. 図工の削品をろう下にかざる
    誤 ／ 正
15. 岸日の朝に初(はつ)もうでに行く
    誤 ／ 正
16. 義警は高校で数学を教えている
    誤 ／ 正
17. 夜のまどから月香がさしこむ
    誤 ／ 正
18. 新しい映(えい)画が紅開される
    誤 ／ 正
19. スケート場は糖期だけ開(ひら)く
    誤 ／ 正
20. お城(しろ)に宝東がかざってある
    誤 ／ 正
21. 晴れた日は気文がいい
    誤 ／ 正
22. もらった本を大摂にする
    誤 ／ 正
23. 日曜日の午繕はピアノを習(なら)う
    誤 ／ 正
24. ピアノを習(なら)って伴年になる
    誤 ／ 正

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 3かん おなじおんのかんじ

なまえ

/ 16

次のカタカナを漢字に直して、□に記せ。

1. □（セキ）十字（じゅうじ）の旗がゆれる
2. □（セキ）油（ゆ）ストーブをつける
3. □（セイ）年（ねん）が道を教えてくれた
4. クイズの□（セイ）解（かい）を発表する
5. クラスが一（いち）□（ガン）となって歌う
6. □（ガン）日（じつ）の朝に初（はつ）もうでに行く
7. 入学式（しき）で□（コウ）歌（か）を聞く
8. 父は国の外（がい）□（コウ）の仕事（しごと）をしている
9. □（キョウ）弟（だい）でおもちゃを分け合う
10. たなに□（キョウ）人形（にんぎょう）をかざる
11. 水泳（えい）の□（タイ）会（かい）に出る
12. この音は一（いっ）□（タイ）何だろう
13. お城（しろ）に宝（ほう）□（トウ）がかざってある
14. スケート場は□（トウ）期（き）だけ開（ひら）く
15. 日曜日の午（ご）□（ゼン）はピアノを習（なら）う
16. 山の高（たか）さは三（さん）□（ゼン）メートルだ

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10